

平成29年
(2017年)

春号

大津・南部の農業

発行

滋賀県大津・南部農業農村
振興事務所農産普及課
草津市草津三丁目14-75
TEL 077-567-5421~5423
FAX 077-562-8144
メールアドレス ga35@pref.shiga.lg.jp
発行責任者 古谷 博幸

この印刷物は古紙/リブを配合しています。

新たな品目に取り組み、集落営農を発展させる



農事組合法人「農^の~^む夢せきのつ」は、大津市南部の瀬田川と大戸川の合流するところ
にあり、平成13年度に始まったほ場整備の際には陶器や城郭跡が見つかるなど、この地
が交通の要衝であったことがうかがえます。

ほ場整備は1haを基本とする大区画整備が行われ、大型機械導入と併せ集落の営農活
動を一本化した営農体制づくりが行われました。これによって大幅なコスト削減と省力
化が実現しました。さらに、平成18年には農事組合法人としてこの組織のステップアッ
プを図られました。

現在では、水稻17.4ha、麦・大豆それぞれ7.3haの他、平成25年からキャベツ栽培に
も取り組み始められました。初年度は45a、現在の作付面積は1haを超えています。寒暖
差のある山裾の農地のため、甘みのあるものが収穫でき、学校給食での利用の他、地元
JAの直売所や大手スーパーでも販売され、消費者から好評を得ておられます。

周りに消費者の方が多くおられるという地の利を活かして、野菜づくりを行い地産地
消の取組みをすすめられています。また、この取組みを通して近隣消費者との交流が生
まれ、組織の新たな活力源となっています。

農業濁水を流さないようにしましょう

管内の主要河川の平均透視度をみると長期的には改善傾向にありますが、代かきや田植の時期には濁った水が河川を通じて琵琶湖へ流れ込みます。田んぼから濁水を流さないように、以下の点に気を付けて農作業を行いましょう。

1. 排水口およびその周辺からの漏水防止

入水前に排水口には止水板を設置し、畔ぬりを行うなど漏水がないようにしましょう。

2. 浅水代かきの実施

田んぼの表面の7～8割が見える程度の浅水で代かきを行いましょう。前作の稲わらなどの浮き上がりを抑え、田の凸凹を少なく仕上げることができます。

3. 入水量の削減

代かき後は必要な量だけ水を入れるようにしましょう。必要以上の入水は、雨で濁水があふれだすことにつながります。

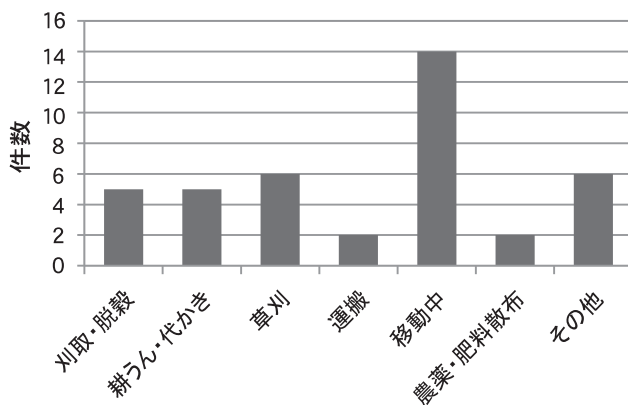


排水口に設置された止水板

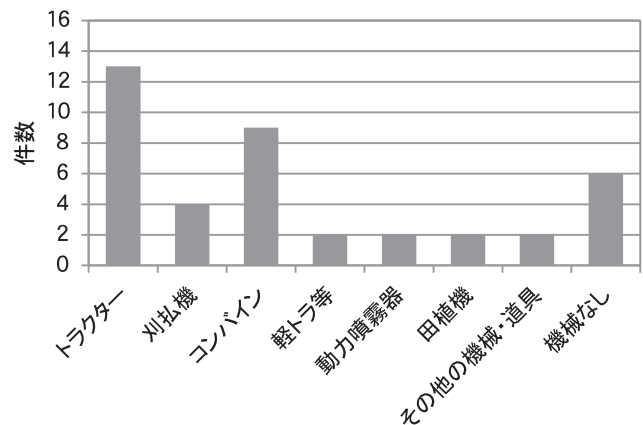
春の農作業も安全第一で！

平成27年の農作業事故の発生件数は県下で40件、そのうち死亡・重症事故は23件発生しています。事故は耕起・収穫・草刈りなどの作業時だけでなく、作業前後の移動中にも発生しています。次の点に注意して無事故で農作業を行いましょう。

- 草刈機やコンバインに巻き付いた草を取るときは、必ずエンジンを止めましょう。
- トラクターで道路を走行するときは、左右のブレーキを連結ましょう。また、機械本体や作業機の後部・側面に反射シールを貼り、夜間走行時に目立つようにましょう。
- 農作業機械をトラックなどに積み込む時には、足場板がしっかりと固定されていることを確認ましょう。



農作業別事故発生状況(平成27年)



機械別事故発生状況(平成27年)

獣害対策、柵の管理と柵あれこれ

大津・南部管内では、野生動物による農作物被害額が減少傾向にあります（平成23年6,910万円⇒平成27年1,250万円）。侵入防止柵の設置や捕獲頭数の増大等、集落あげての対策による効果が現れてきているものといえます。

しかし、集落単位で囲った侵入防止柵は管理が疎かになると防護効果はどんどん下がっていきます。効果を継続するためにも侵入防止柵の管理を徹底いただくようお願いします。

柵の管理は集落や自治会単位で

1. 柵の定期点検やメンテナンスは、個人任せではなく集落など共同で最適な管理をしてください。
2. 柵の管理規程をつくり責任者を決め、皆が当番制で見回りをするなど集落ぐるみで管理してください。
3. 侵入された箇所は工夫して、侵入しにくい柵へと進化させてください。



土砂が押し寄せ、クズに覆われた状態の柵

中型獣の被害から畑を守る



近年増えてきたハクビシンやアライグマ、キツネやタヌキなどの中型獣の被害対策は、電気柵が有効です。左の写真は、地際から30cmの高さのネットに電気柵を組み合わせたハクビシン対策の簡易防護柵です。簡易防護柵は比較的低コストで小規模なほ場を守るのに適しています。野生動物の行動特性によって簡易防護柵の設置方法は変わります。

サルの被害から畑を守る

「サルは何をしてもアカン」とあきらめていませんか？

右の写真は多獣種に効果がある防護柵で、サルにも有効です。サルが畑に侵入する際、支柱につかまって入るといった行動特性を利用し、支柱にも電気を流すことで侵入を防ぎます。管内ではこの防護柵が4か所に設置されており、いずれも高い効果を確認しています。



※柵の管理規程、管理方法の事例、防護柵の詳細については、当課までお問い合わせください。